



福山西ロータリークラブ 例会情報



(2020~2021年度)

[第 1427回例会]-(17)

会 長 佐藤 教夫 幹 事 瀬尾 義裕

クラブ会長テーマ

「ひろげよう、ロータリーの輪を」

日 時 2020年11月24日(火)
12:30~13:30
場 所 福山ニューキャッスルホテル
例会行事 点 鐘・ソング「おお マイフレンド」
「四つのテスト」唱和
ゲスト・ビジターの紹介(出席報告参照)
食 事

例会情報 [会 長 報 告](#)
[幹 事 報 告](#)
[出 席 報 告](#)
[S A A 報 告](#)
[ス マ イ ル 報 告](#)
[プ ロ グ ラ ム 情 報](#)
・ロータリー財団フォーラム
[そ の 他 報 告](#)

その他情報 [メークアップ情報\(来週分\)](#)
[メークアップ情報\(再来週分\)](#)
[今 後 の 行 事 予 定](#)
[ク ラ ブ 活 動 報 告](#)

*Ctrlキーを押しながらクリックするとそのページが表示されます。

【 会 長 挨拶 】

本日は、皆様にアンケートをお願いしておりますが、来週の戦略会議で使用しますので、よろしくお願い致します。主に予算に関する事が多いのですが、我々の年代になると、あまり関係ないと思われ
ますが、若い方にとっては、どうでしょうか。

アンケートについて簡単に説明させていただきますと

- 1) の「5年後に私たちのクラブがどのようなクラブになっているべきか」とあり、漠然として
おりますが、どのようなご意見でも構いませんので、普段考えている事などを書いてもらえ
ばと思います。
- 2) どうすれば、その様なクラブに近づいて行くのでしょうか。
- 3) 委員会の統廃合と申しまして、五大奉仕委員会などはできないかと思われませんが、会員数
が減少してまいりますと委員会メンバーの構成が厳しくなっています。
- 4) 上記3)にも多少関連しますが、予算的にも厳しくなっていますので、少し行事を減らして、
その予算を次回の周年行事などに使用したら。
多少盛大にできるのでは。
- 5) 私もSAをしましたので、誕生日やパートナー誕生日のプレゼントを選ぶのに、頭を悩ませ
た経験があります。
でも、「今年は何だろう」と楽しみにしていますし、家内も、花が届いたと喜んでおりますが、
会員さんの中には、いらぬ物に費用が掛かるとっておられる方がおりました。
この点、率直なご意見をお願いします。
- 6) 周年行事や地区大会などで、出席できないのに会費を払う必要があるのか。
ロータリーに対する意識の問題でしょうか。
これも少数意見かも知れませんが、考えをお聞かせ下さい。

長期ビジョン検討委員会でも皆様のご意見を活用させてもらおうかと考えております。
無記名で結構ですのでどうぞよろしくお願い致します。

[表紙へ](#)

【 プ ロ グ ラ ム 情 報 】

【ロータリー財団フォーラム・・・ロータリー財団・米山奨学会委員長 城之内重信】

今月はロータリー財団月間となっています。本日は少し財団について説明をしたいと思えます。

昨年まで毎年地区のロータリー財団の方をお招きし、卓話をお願いしておりましたが、今年度はロータリー財団委員会のクラブフォーラムが無く、今回寄付のお願いの前に少し説明をし、皆様に快く寄付をして頂けるようにとと思って企画致しました。よろしくお願ひいたします。

【活動方針】

ロータリー財団の使命である、人々の健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるよう、また、米山記念奨学会の目的である、母国と日本との懸け橋となって国際社会で活躍する優秀な留学生を育てるため、財団、奨学会へのより一層の理解を深め、そのプログラムへの参加と財政的支援に協力します。

【活動目標】

1. R財団の地区目標額の達成

- 年次基金寄付 150\$/一人以上 昨年度 168.6\$
- 恒久基金寄付（ベネファクター）1,000\$/一人以上 昨年度 松井前年度会長
- 使途指定寄付（ポリオプラスへの寄付）35\$/一人 以上
- ロータリーカードの理解と普及

① 年次基金寄付（使途を指定しない寄付）

• クラブ寄付

寄付の基盤であり、使い道を指定することなく、ロータリー財団に寄付するものです。

昨年まで財団への寄付一人20\$と、ポリオプラスへの寄付15\$を別途請求させていただいております。

（2011年よりR財団への寄付金は税法上の優遇措置が適用されることになり、個人名での申請となっております。）

• 任意個別寄付（個別の寄付です）

今後、細井さんと個別にお願いにまいりますので、ご協力をお願い致します。寄付額の合計でポールハリスフェロー、マルチプルポールハリスフェロー等、個人表彰されます。

*1,000\$ 達成で ポールハリスフェロー

*2,000\$ 達成で マルチプルポールハリスフェロー

*10,000\$ 以上で 大口寄付者

シェア・システムを通じて、地区内の寄付総額の50%が地区財団活動資金（DDF）、50%が国際財団活動資金（WF）に分けられております。

② 恒久基金寄付 (ベネファクター)

ロータリー財団の基金であり、元金(寄付金)には手を付けず、投資収益の一部を財団プログラムに使用されます。(今年度は下平前年度会長にお願い致しております。)

③ 使途指定寄付 ポリオプラス基金など使途を決めて寄付をする。

今年度は一人当たり 15\$をお願い致します。

④ ロータリーカード加入

スタンダード年会費無料、ゴールドカード年会費 11,000 円/年

特典

- ・ ショッピングの利用金額の 0.3%が自動的に R 財団のポリオ撲滅 2 億ドルチャレンジとして事務局へ加算されます。

以上が今年度の活動目標です。財団のプログラムの説明の前に、2007 年の規定審議会で、国際ロータリー理事会よりロータリー財団の使命、標語、優先事項に関する決議が提出され、採択されました。少し説明をしたいと思います。

- ・ 使命 ロータリアンが、健康状態を改善し、健康状態を改善し、教育への使命を高め貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすること。
- ・ 標語 (世界でよいことをしよう) これは、アーチ・クランフが、1917 年 アトランタの国際大会にて、ロータリー財団設立の時述べられた言葉です。
- ・ 優先事項
 - ・ すべてのプログラムと運営を簡素化すること。
 - ・ プログラムの成果も内容も夢計画に沿ったものにする。
 - ・ 地区レベル、クラブレベルにおいてロータリー財団へより一層参加し、財団を自分たちの財団と自覚すること。
 - ・ プログラムの目標達成のための十分な資金と人材を提供すること。
 - ・ 未来の夢計画を支える効果的な方法を開発すること。

2. R 財団のプログラムと財団への寄付金の行方

プログラム

① 人道的プログラム

- ・ マッチンググラント 現在ロータリー財団最大のプログラムです。財団の補助金の 3 分の 1 を占めます。6 つの重点分野の人道的プロジェクトにクラブと地区に授与 されます。
- ・ 地区補助金 国内また地区内の社会奉仕プロジェクトに補助金を出すというもので、DDF を使用。
- ・ 3-H 補助金(保健、飢餓追放、人間性尊重) 国際間の理解、親善および平和を推進するための方法として人々の健康を改善し、飢餓を救済し、人間的社会の発展を計る。
- ・ ボランティア奉仕活動補助金 旅費が支給される唯一の補助金

② 教育的プログラム

国際親善奨学金・世界フェローシップ・研究グループ交換・ロータリー平和及び紛争解決研究プログラム

③ ポリオ・プラスプログラム

1980年の国連の40周年に当たり、ロータリーは1億2000万ドルを集める声明を発表し、1986年7月からスタートしました。

ちなみに、2020年1月1日～10月21日まで、世界の症例者数は
(パキスタ 79人 ・アフガニスタ 53人 合計 132名) となっております。

寄付金

① 地区補助金

- DDFの50%以内で、**人道的、教育的、社会奉仕的**な多様な分野のプロジェクト(ロータリー財団の使命に沿ったプロジェクト) 補助金は最高で¥600,000
- 地区および地区内クラブの奉仕活動または人道的活動を支援することを目的とする。
- 教育的プロジェクトは、「6つの重点分野」の基本的教育と識字率の向上の分野で現代の成熟した国では困難な分野となっております。

② グローバル補助金

補助金はクラブキャッシュの4倍かつDDFの40,000\$, 以下で「6つの重点分野」に関するものであれば、人道的、奨学会、職業研修チームに関するプロジェクトを自由に立案できる。

6つの重点分野

- 平和と紛争予防/紛争解決
- 疾病予防と治療
- 水と衛生
- 母子の健康
- 基本的教育と識字率の向上
- 経済と地域社会の発展

③ パッケージ・グラント

補助金の下限 50,000ドル、上限は相談次第財団が立案し、戦略的パートナーと合同で長期的で大規模なプロジェクトを実施するもので、戦略的パートナーとの協力の下、ロータリアンがプロジェクトの実施にあたる。

④ ロータリー平和センター

以前の世界フェローシップを継続

⑤ ポリオ・プラス・プログラム

3. 米山記念奨学会

日本最初の「ロータリークラブ」の創設に貢献された米山梅吉氏の功績を記念して発足しました。

1952年、東京ロータリークラブが発表したのは、海外から優秀な学生を日本に招き、勉学を支援する事業「米山基金」の構想でした。そこには、二度と戦争の悲劇を繰り返さないために、国際親善と世界平和に寄与したいという、当時のロータリアンたちの強い願いがあり、この事業はわずか5年の間に日本全国のロータリークラブの共同事業へと発展し、1967年には、(財団法人ロータリー米山記念奨学会)が設立されました。現在50年以上の歴史を持ち、RIから認証を受けた日本のロータリー独自の他地区合同奉仕活動です。

4. 今年度 米山奨学会地区目標額の達成 (普通寄付と特別寄付の合計)

- ・ 地区目標額 一人当たり 16,000 円
- ・ 奨学会事業
 - ① 奨学金の支給
 - ② 世話クラブとカウンセラー制度
 - ③ ロータリアンと奨学生の交流
 - ④ 国内外の学友会活動
- ・ 寄付
 - ① 普通寄付金 (クラブ会員からの定期的な寄付)
クラブで決定した金額×会員数 (半期に一度)
今年度も、半期 2,000 円×2=4,000 円/年・よろしくお願い致します。
 - ② 特別寄付 会員から、普通寄付以外に個別に寄付されるもの
(税制面の優遇措置はこれまで特別寄付のみでしたが、新たに普通寄付も対象、適用下限 2,000 円)
- ・ 表彰制度 個人、クラブの特別寄付に対して、次の表彰制度があります。
 - * 3 万円 準米山功労者
 - * 10 万円 第 1 回 米山功労者 感謝状 (青色)
 - * 20~50 万円 10 万円毎に感謝状 (銅色)
 - * 60~90 万円 第 2 回~第 9 回 米山功労者マルチプル感謝状 (銀色)
 - * 100 万円~390 万円 第 10 回~第 39 回米山功労者メジャードナー感謝状 (金)

5. 昨年度実績

- ・ ロータリー財団寄付 会員 1 人当たり \$ 168.6\$
 - ・ 米山記念奨学会寄付 会員 1 人当たり ￥ 14,611
- 梶原 前委員長様のご努力に感謝いたします。お疲れ様でした。今年度もよろしく
お願い致します。

最後に、今年度は福山西RCの世話で、皆さんご存知のバトナム国のグインフックリ君を、竹中
加納様のもとで1年間お世話をする事となっております。ご協力をお願い致します。

以上の活動目標で一年間頑張りますので、皆様のご協力よろしくお願い致します。
コロナ禍で大変な時季に、ご無理をお願いにまいりますのでご協力をお願い致します。